

2. 水稻の有望な赤米糯系統‘岡山赤糯61号’の特性			
[要約] 岡山県南部に適する、強稈で良質、良食味の有望な晩生の赤米糯系統‘岡山赤糯61号’を交雑育種法によって育成したので、現地実証に移す。			
研究室名	作物研究室	連絡先	0869-55-0271(内線220)

[背景・ねらい]

岡山県では、赤米が地域特産物として注目され、産地化が試みられているが、赤米在来品種は倒伏や脱粒しやすく、食味も劣る。そこで、これらの欠点を改良した強稈、良質、良食味な赤米糯品種の育成する。

[成果の内容・特徴]

1. ‘岡山赤糯61号’は、昭和62年に‘総社赤米’を母、‘サイワイモチ’を父として交配し、集団育種法で育成した。平成7年から奨励品種決定調査に供試し、生産力と特性を検討してきた（表1）。
2. 出穂期、成熟期はヤシロモチより12日程度遅い、晩生の糯種であった。
3. 稈長は、ヤシロモチより3cm程度短く、耐倒伏性は強かった。
4. 穂数は、ヤシロモチよりやや多く、草型は偏穂数型に属した。
5. 耐病性は、いもち病にはヤシロモチより強かった。
6. 収量性は、ヤシロモチより劣るが、赤米品種としては高かった。
7. 玄米は、ヤシロモチより小粒で、色は赤褐色であった。
8. 食味は、ヤシロモチ並で粘りが強く、糊化特性は優れていた（表2）。
9. 出穂期の芒は赤色で長く、観賞用にも適し、脱粒性は難であった。

[成果の活用面・留意点]

1. 普及地帯は、南部の標高100m以下の平坦地域で、紅白もち、赤飯、菓子及び観賞用などの地域特産物として普及を図る。
2. 倒伏には強いが、過度の多肥栽培では品質が低下するので、施肥量はヤシロモチ並とする。
3. 縞葉枯病には弱いので、薬剤を苗箱施用する。
4. ヤシロモチより穂発芽しやすいので、収穫は適期に行う。
5. 花粉が飛散して雑種を生じる恐れがあるので、出穂期に近い品種を周辺で栽培しない。

[具体的データ]

表1 岡山赤糯61号の特性一覧

系 統 名	岡山赤糯61号	組 合 せ	総社赤米／サイワイモチ
調 査 地	岡山県農業総合センター 農業試験場		
調 査 年 次	平成7～10年		
品 種 系 統 名	岡山赤糯61号	ヤシロモチ	
早 晩 性 草 型	晩 生 の 晩 偏 穂 数 型	中 生 の 中 中 間 型	
出穂期(月・日)	9. 9	8. 28	
成熟期(月・日)	11. 1	10. 11	
稈 長 (cm)	95	98	
穂 長 (cm)	19. 6	20. 3	
穂 数 (本 / m ²)	324	290	
芒の多少・長短	多・長	中・中	
ふ 先 色	赤褐	赤褐	
脱 粒 性	難	難	
耐 倒 伏 性	強	弱	
穂 発 芽 性	易	やや易	
耐 葉 い も ち	強	中	
病 穂 い も ち	強	強	
性 白 葉 枯 病	やや弱	中	
玄 米 重 (kg / a)	48. 7	61. 3	
収 量 比 率 (%)	80	100	
玄 米 千 粒 重 (g)	22. 8	24. 9	
玄 米 品 質	中 の 上	中 の 上	
食 味	上 の 下	上 の 下	

表2 糊化特性^{a)}

品種系統名	試料	最高粘度		最低粘度 RVU	ブレイクダウン RVU	最終粘度 RVU
		RVU	℃			
岡山赤糯61号	玄米	295	72. 2	108	187	219
ヤシロモチ	玄米	242	73. 0	94	148	214
サイワイモチ	白米	286	72. 3	102	184	219
ヤシロモチ	白米	330	73. 6	118	212	261

a) 平成7年 岡山農試産米を平成8年6月にラピッドビスコアナライザーで測定

[その他]

試験研究課題・事業名：交雑育種法による良質強稈多収品種の育成
 水稻奨励品種決定調査

予算区分：県単、国庫補助

研究期間：昭和62～平成12年度

関連情報等：平成6年度試験研究主要成果：交雑育種法による水稻新系統の育成